



いじめ防止「きずな」アクション

11月以降、「いじめ防止『きずな』キャンペーン」期間ということで、様々な活動を行ってきました。各学年委員会で話し合った内容をもとに、生徒会執行部では以下のように「いじめ防止に向かうための行動目標」および、行動目標を達成するための「いじめ防止『きずな』アクション」を考えました。

○ いじめ防止に向かうための行動目標

自分も相手も大切にして みんなで明るい学校をつくろう

この目標には、いじめ防止に向けて考え、行動していくことが、相手はもちろん自分も大切にしていくことになる。そうしてみんなで明るい学校をつくっていきこう、という思いが込められています。

○ 行動目標を達成するための「いじめ防止『きずな』アクション」

生徒会執行部や学年委員が中心となり、12月の朝読書の時間を活用して縦割り毎にコミュニケーションがとれる様々なゲームを行いました。普段あまり関わることの多くない同級生や先輩・後輩と関わり合う機会を通して、それぞれの関係性を深めることができたのではないかと思います。

「いじめ防止『きずな』アクション」に取り組み、活動の振り返りをしましたので、一部の生徒の感想を紹介します。

- バースデーリングでは、全然知らない先輩にジェスチャーすることで少し距離が縮み、ドッチビーでは、先輩の頼れる姿を見て、改めて尊敬しました。そしてどっちも楽しかったです。(1-1 SH)
- 今回の活動を通して2年生や3年生の先輩と関わることが良かったなと思った。絆アクションをやっている、嫌な思いをしている人がいなかったからこれからも機会があればやってほしいと思った。(1-1 OS)
- コロナ禍の中、縦割りで活動できる短い時間だったから充実した活動になった。特にドッジビーはチーム分けで1~3学年が入り混じったチームになってチーム内で協力することができた。バースデーリングでは2・3学年の先輩たち(特に3年生の先輩)とコミュニケーションをとれた貴重な機会だと思った。(1-1 TN)
- この活動があったおかげで、クラスの皆はもちろん、先輩方とも交流を深めることができ、更と一緒にゲームを楽しむことができたので、とても良かったと思った。(1-2 TT)
- いろんな先輩方やまだあまり喋ったことのない人とも関わることができたし、みんなでゲームをして遊ぶことができて、すごく楽しかった。(1-2 KT)
- 内容は学年関係なくいじめ防止きずなアクションのドッチビーを楽しむことができたと思います。けどもっと時間が取れていたらやっぱり関われる時間が長くなるしいいんじゃないかなと思いました。(1-3 YT)
- 他学年との交流で知ってる人や、仲良くしてくれる先輩が増えた。ドッジビーでは、チームの連携プレイを意識することで話したり、作戦を立てたりしたのが面白かった。来年も実施してほしいと思った。(1-3 HR)
- ドッチビーのとき、2・3年生の先輩たちもいっぱい応援してくれたし、私達も先輩のことを応援して、3組が一つに繋がったな~と思いました。楽しかったです。(1-3 HS)
- 見ててみんなが楽しそうで良かったです。特にフルーツバスケットでは、お題を出す人が自己紹介をするというルールがただ遊ぶだけじゃなくてとても良かったと思います。(1-4 OM)
- 活動を通して同じ学年だけではなく違う学年の人とも交流ができてとても有意義な時間を過ごせた。特にフルーツバスケットでは隣に違う学年の人が座っても少し話せたり、協力できたりしていじめ防止の良い行動ができたと思う。(1-4 TK)
- 知らない先輩達と一緒に活動することに最初緊張したりして少し抵抗があったけれども、馴染みのあるゲーム感覚で交流出来るところがいいと思いました。回を重ねるごとに次第に学年と学年の間も縮まっていったように感じて、楽しく活動が出来ました。(1-4 KR)
- みんなと仲良く活動を行うことができたし、このことをきっかけにもっとたくさんの人と交流を深めていきたいです。(1-5 KM)
- いろんな学年のいろんなタイプの人と関わってこの人はこんな人なんだとか、この人と話が合いそうだなって人に会えた。ドッジビーとかの協力するタイプのゲームは話すことが多くて楽しかった。(2-1 IN)
- 関わったことのない先輩や後輩とのコミュニケーションがとれて、今まで関わっていて先輩、後輩、同級生とも話すようになり、さらに仲が深まった感じがした。大人数でやるゲームはとても楽しかった。(2-1 UY)

- 楽しみながらも学年関係なく、会話をしたり、コミュニケーションを取ったりすることができた。先輩方とも会話をすることができました。お互いに、相手の考えなどを知るきっかけにもなったので、良かったです。(2-2 MI)
- 進行が主な仕事だったが、時間通りに終わらないなど課題が多く見つけたが、みんな楽しそうにコミュニケーションを取りながら活動していたのでいじめ防止にある程度の効果はあったのかなと思った。(2-2 KA)
- 縦割りで活動をすることで学年だけでなく先輩後輩ともコミュニケーションを取ってお互いのことを知るきっかけになりました。今後も縦割り活動やりたいです。(2-2 SH)
- 執行部として運営する側だったけれど、みんなが楽しそうにやってくれて嬉しかったです。時間がなく、予定していた内容がすべて終わらなかったりしたことがあったので、今回の経験を活かして、これからの色々な行事の運営をするときなどはより良いものにできるようにしていきたいと思いました。(2-3 MA)
- 他学年の人とも仲良く話しながら活動することが出来てよかったです。でも、自分から話しかけるのは苦手と話しかけてもらったことのほうが多かったので自分からも話しかけられるようになりたいと思いました。(2-3 AY)
- 今回の活動で学年の横のつながりだけでなく、異学年の間のつながりを育てることができました。異学年交流を通し、協力することの大切さやお互いに思いやる心を育て、いい経験になりました。とても楽しかったです!!(2-4 AK)
- ゲームの中に自己紹介なども含まれていたため、他の学年の人のことも知れて良かったです。みんなでチームとなって活動出来たので良い縦割り活動になったと思います。(2-4 AT)
- 体育祭の縦割り活動の時よりも、更に仲が深まったと思いました。バースデーリングやフルーツバスケットの自己紹介で他学年の人の事を知れたので良かったです。(2-5 NH)
- お互いに仲良くなれば、いじめの防止につながると思うので、今回の学年関係なく楽しく活動できたのは、いじめ防止にもつながり良い活動だと思った。(2-5 HR)
- 自己紹介の終わりに拍手をしていたり学級委員のみなさんが一緒に頑張ってアドバイスをしたり、学年の層を超えて仲良く話をする人がすごく見受けられた。あまり学校内で話す機会がなかったため、この一つの場所に集めて何かをするのは大事なことだと思った。(2-5 AN)
- 初回のバースデーリングで、いざやってみると同じ誕生日の人同士で仲良くなるなど交流を深めることができました。2回目のドッチビーでは、3年生がなるべく当たらないようにするなど作戦を考え意見をまとめ関わるすることができました。(3-1 SY)
- 今まで縦割り2組としての活動が紺青祭のときの写真しかなくて、それもクラス全員ではなかったので、今回全員で活動できて楽しかったです。あと、直接たくさん話したりはできなかったけど、遊んで楽しい時間を一緒に過ごせたことに意味があると思うので今回の活動ができて良かったです。(3-2 YY)
- 異学年の人たちと交流するという初めての試みの中で、明るく、関わりを大切にできるような良い雰囲気をつくりだせていたように思いました。(3-3 TM)
- 今回の活動を通して学年の交流をすることができ、執行部や学級委員を中心として楽しめるようなものになったと思った。(3-4 SD)
- 今回の活動を通して縦割りの絆がより深まりました。また、あまり話したことの無い人との関わりもあり楽しい活動でした。(3-5 KR)

◎ 活動の様子の写真

○ 「バースデーリング」



○ フルーツバスケット

